アードウルフ

ハイエナのなかまですが、動物の肉ではなくシロアリをおもに食べています。オスとメスのつがいでくらしますが、食べ物をさがしに行くときは単独で行動します。

●体長:55～105cm●尾長:20～30cm●体重:8～14kg●アフリカ東部・南部●サバンナ、低木林●シロアリ、アリ

アイアイ

熱帯雨林の木の上でくらし、地面にはほとんど下りません。夜行性で昼間は木の葉や枝でつくった巣でねむっています。

●体長:36～44cm●尾長:40～60cm●体重:2～3kg●マダガスカル島北部～東部、西部●熱帯雨林、森林●果実、昆虫、鳥の卵、花のみつ

アカギツネ

森林や山地にすみ、ふだんは単独で食べ物をさがします。

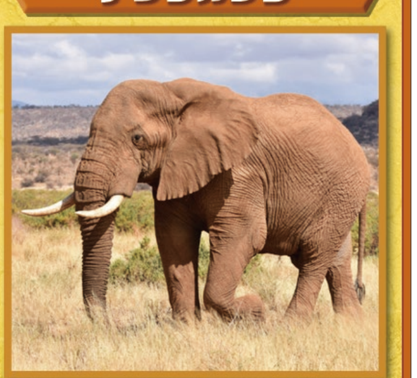
●体長:46～90cm●尾長:25～56cm●体重:3～14kg●ユーラシア、アジア、北アメリカ、アフリカ北部●ツンドラ、タイガ、森林、山地、砂漠●ネズミ、ウサギ、鳥、カエル、果実

アヌビスヒヒ（ドグエラヒヒ）

川のそばの森林などにくらし、数十頭の群れをつくります。オスは成長すると群れを出てほかの群れに入ります。

●体長:50～95cm●尾長:38～66cm●体重:15～37kg●アフリカ西部～東部●水辺、森林、熱帯雨林、山地、サバンナ●果実、昆虫、は虫類、ほ乳類（アンテロープの子どもなど）

アフリカゾウ



陸上でもっとも大きな動物です。長い鼻と大きな耳をもち、オスにもメスにもきばがあります。鼻は草をつかんだり、水を飲んだりするために使います。

●体長:3～7.5m●尾長:1～1.5m●体重:2.5～7.5t●サハラ砂漠より南のアフリカ●サバンナ、熱帯雨林、高原、砂漠、半砂漠●木の葉・枝・皮、果実、草、根

アフリカノロバ

岩の多い砂漠にすみ、草から低木までさまざまな植物を食べます。オスは単独でなわばりをもち、なわばりにやってきたメスと交尾をします。

●体長:1～2.3m●尾長:約45cm●体重:200～275kg●アフリカ東部・北東部●砂漠、半砂漠、低木林、サバンナ●草、木（アカシアなど）の葉

アマゾンマナティー

もっとも小さなマナティーで、アマゾン川の淡水域にすんでいます。水面近くの水草などを食べていて、雨季になると洪水で川から水があふれた地域まで移動してきます。

●体長:2.5～3m●尾長:不明●体重:350～500kg●南アメリカ北東部～北西部（アマゾン川流域）●河川の淡水域●水草、木の実、草

アミメキリン

キリンは動物のなかでもっとも背が高く、ほかの動物がとどかない高い木の葉を食べることができます。アミメキリンは、からだのあみ目もようがはっきりしているのが特徴。

●体長:3.8～6m●尾長:78～100cm●体重:550～1930kg●アフリカ●サバンナ、森林、砂漠●木（アカシアなど）の葉・枝、果実、花、種子

アメリカアカリス

木の上にすむリスですが、地上でもよく食べ物をさがします。冬に冬眠をしないので、秋のあいだにドングリなどの食べ物を巣にためたり、地面を浅く掘ってうめたりしておきます。

●体長:16.5～35cm●尾長:9～16cm●体重:140～310g●北アメリカ●森林●果実、種子、木の実・皮、キノコ

アメリカバイソン

バッファローやアメリカヤギュウともよばれます。ぶ厚い毛でおおわれた大きな頭が特徴で、オスとメスは別の群れでくらし、繁殖期だけ合流します。

●体長:1.8～3.8m●尾長:30～60cm●体重:318～1270kg●北アメリカ●草原●草、木の葉・枝

アメリカビーバー

森の中を流れる川などにロッジとよばれる巣をつくり、つがいと3～4頭の子どもでくらしています。大きな後ろあしにある水かきと平らな板のような尾を使い、水中を自由自在に泳ぎます。

●体長:60～130cm●尾長:22.9～40cm●体重:11～32kg●北アメリカ●タイガ、川、湖●木の葉・枝・皮、草、水草

アラビアオリックス

アラビア半島の砂漠にすみ、群れで行動します。約80kmはなれた場所でふっている雨のにおいをかぎ取る能力があり、群れは雨のにおいがするほうに向かって移動します。

●体長:1～1.6m●尾長:不明●体重:35～75kg●アラビア半島●砂漠、半砂漠●草、木の葉、根、果実

アルパカ

古くから家畜として飼われています。リャマと同じように標高の高い地域でくらしています。相手をいかくするときにはとてもくさいつばをはきます。

●体長:1.2～2.3m●尾長:12～25cm●体重:55～65kg●南アメリカ（アンデス山脈）●山地●草、木の葉

アルプスマーモット

アルプス山脈の標高1200m以上の場所に多くすんでいます。地中に巣あなを掘って群れでくらしています。夏に草をたくさん食べて、9か月におよぶ冬眠にそなえます。

●体長:30～60cm●尾長:10～25cm●体重:2.8～7.5kg●ヨーロッパ（アルプス山脈など）●山地●草、根、種子、果実、昆虫

イノシシ

オスは単独で、メスはほかのメスや子どもと数十頭の群れをつくってくらします。ずんぐりしたからだですが、泳ぎも得意です。鼻やきばで土を掘り、木の根や地下茎を食べます。

●体長:90～180cm●尾長:約30cm●体重:50～350kg●ヨーロッパ～アジア、北アフリカ、日本●森林、草原●木の根・葉、地下茎、草、果実、小動物

エゾシマリス

ほかのリスとはちがい、木にはあまり登りません。地中に巣あなをつくり、おもに地上でくらします。秋、ドングリなどの食べ物を巣あなにたくわえて冬眠にそなえます。

●体長:10～18cm●尾長:6～13.2cm●体重:50～150g●日本（北海道）●森林●果実、花、芽、昆虫、小動物

エゾヒグマ

春から夏の繁殖期をのぞき、ふだんは単独でくらします。草や木の実のほかに魚が好物で、マスやサケが川へ上ってくる秋には川にあらわれます。冬は地中にあなを掘って冬ごもりします。

●体長:1.3～2.8m●尾長:6～21cm●体重:80～400kg●日本（北海道）●山地、森林●草、果実、魚、ほ乳類

エレガントワラビー

後ろあしと尾が長く、すっきりとした体型をしています。最大で50頭ほどになる大きな群れをつくり、とても広いなわばりをもちます。

●体長:70～92cm●尾長:73～104cm●体重:7～26kg●オーストラリア北東部●森林、草原●草、木の葉、シダ類

オオカンガルー

最大級のカンガルーで、オスは立ち上がると2m以上になるものもいます。

●体長:1～2.3m●尾長:43～110cm●体重:32～90kg●タスマニア島、オーストラリア東部●森林●草

オオセンザンコウ

センザンコウのなかまでもっとも大きくなります。あまり木には登らず、地面にあるアリ塚や地中のアリの巣をさがし、巣をこわしてシロアリやアリを食べます。

●体長:75～145cm●尾長:65～80cm●体重:20～33kg●アフリカ西部・中央部●森林、サバンナ●アリ、シロアリ

オオヤマネコ

単独でくらし、夜明けや夕方に食べ物をさがします。70m以上先にいるネズミを見つけられる視力をもっています。雪深い場所でもじょうずに歩くことができ、木登りや泳ぎも得意です。

●体長:65～130cm●尾長:10～35cm●体重:5.5～40kg●ユーラシア●タイガ、森林、山地●ほ乳類（シカ、ウサギなど）、鳥

オグロワラビー

下草のある森林や水辺の草原などにすみ、暑いときには水浴びをすることから、ヌマワラビーともよばれます。夜行性であり、単独で行動します。

●体長:66～85cm●尾長:64～86cm●体重:10～20.5kg●オーストラリア東部●森林●草、木の葉・枝・皮

カワイノシシ（アカカワイノシシ）

川やぬまの近くの森林や草原にすんでいます。つがいを中心とした小さな群れでくらしていますが、ときには50頭以上の群れになることもあります。

●体長:1～1.5m●尾長:30～43cm●体重:45～130kg●アフリカ西部～中央部●森林、熱帯雨林、サバンナ●根、果実、小動物、昆虫、鳥の卵

カワゴンドウ

沿岸部や汽水域（淡水と海水がまざる水域）にくらすイルカです。方向転換に使う大きな胸びれや自由に動かせる首のおかげで水中でも小回りがきくので、えものをつかまえるときに役に立ちます。

●体長:1.5～2.8m●体重:90～150kg●東南アジア●河口、沿岸●魚、イカ、タコ

ガンジスカワイルカ

ガンジス川などにすみ、長いくちばしを使って川底の魚やエビをとらえて食べます。単独で行動していますが、まれに小さな群れをつくります。

●体長:2.1～2.5m●体重:85～108kg●ガンジス川流域など●川●魚、エビ

キタオポッサム

オポッサムのなかまでもっとも大きな種です。夜行性で単独で行動し、敵に出会うと死んだふりをします。森林だけでなく、草原や人家のまわりなどさまざまな場所にすみます。

●体長:33～50cm●尾長:21.6～54cm●体重:1.1～5.5kg●北アメリカ～中央アメリカ●森林、草原●ほ乳類（ネズミなど）、鳥、昆虫、果実、小動物

クチジロペッカリー

ペッカリーは、中央・南アメリカで見られるイノシシに近いなかまです。イノシシよりもあしが長く、走るのが得意です。クチジロペッカリーは100頭をこえることもある群れをつくります。

●体長:75～130cm●尾長:1.5～5.5cm●体重:20～50kg●中央アメリカ～南アメリカ●熱帯雨林、森林、草原●果実、木の葉・根、サボテン、小動物

クロクモザル（コロンビアクロクモザル）

果実を好んで食べています。長くて黒い毛と黒い顔が特徴です。

●体長:40～70cm●尾長:80～100cm●体重:5.5～9.5kg●中央アメリカ～南アメリカ北西部●熱帯雨林●果実、木の葉、花、昆虫

クロサイ

サバンナの中でも木の多い場所でくらしています。とがった上くちびるで木の葉や枝を引きよせ、葉を食べます。

●体長:3～4m●尾長:約70cm●体重:800～1400kg●アフリカ東部・南部●サバンナ、森林●木（アカシアなど）の葉・芽・皮・枝、果実

クロテン

森林にすんでいますが、地上で食べ物をさがすことが多いです。おもに夜行性で、ネズミなどを狩ったり、果実を食べたりします。

●体長:32～56cm●尾長:7～19cm●体重:500～2000g●ユーラシア北部、日本●タイガ、森林●ほ乳類（ネズミなど）、鳥、魚、昆虫、果実

コビトカバ

カバの3分の1ほどの大きさで、あしには水かきがありません。乾燥から身を守るために水やどろに入りますが、基本的に陸上でくらしています。

●体長:1.4～2m●尾長:15～20cm●体重:160～275kg●アフリカ西部●森林、熱帯雨林●草、木の葉、果実、水草、コケ

ゴマフアザラシ

ふだんは海の中にすみ、食べ物をさがします。冬から春にかけて流氷の上で繁殖します。子どもの産毛はまっ白で、雪や氷の上で保護色となります。

●体長:1.4～2m●尾長:不明●体重:55～170kg●ベーリング海、オホーツク海、日本（北海道）沿岸●海、海氷、海辺●魚、イカ、タコ、エビ、貝

コモンツパイ

昼間に活動し、おもに地上でくらしていますが木に登ることもあります。おもにミミズや果実を食べます。

●体長:14～23cm●尾長:12～20cm●体重:90～300g●東南アジア（マレー半島など）●熱帯雨林、森林●昆虫、ミミズ、果実、ネズミ、カエル、ヘビ

コモンリスザル

リスのように小さなからだをもつサルです。群れでくらし、大きな群れになると100頭をこえることもあります。

●体長:27～37cm●尾長:36～45cm●体重:500～1300g●南アメリカ北部●熱帯雨林●昆虫、果実

コヨーテ

オオカミに近いイヌ科のなかまです。単独でノウサギなどを狩りますが、群れになってシカなどの大きなえものを狩ることもあります。

●体長:70～100cm●尾長:30～41cm●体重:7～23kg●北アメリカ～中央アメリカ●草原●ほ乳類（ジリスなど）、鳥、は虫類、果実、魚、カエル

サバクキンモグラ

ナミブ砂漠の地下に単独ですみ、前あしのつめを使ってすなの中を泳ぐように移動します。えものの出す振動を感じ取って食べ物をさがします。

●体長:7～9cm●尾長:なし●体重:15～30g●アフリカ南西部（ナミブ砂漠）●砂漠●昆虫、ミミズ、は虫類、ナメクジ、クモ

サバンナシマウマ

1頭のオスと複数のメス、その子どもで群れをつくります。食べ物の草を求めて大移動をするときは、たくさんの群れが集まり、大きな群れをつくります。

●体長:2～2.5m●尾長:45～56cm●体重:175～450kg●アフリカ東部～南部●サバンナ、森林●草、木の葉・芽・枝・皮

シャチ

どのクジラ・イルカよりも広い範囲にくらしています。群れによって食べるものがことなり、それぞれ狩りのしかたがちがいます。

●体長:5.7～10m●体重:2.6～10.5t●世界中●海●ほ乳類（アザラシなど）、鳥、魚、イカ、ウミガメ、クジラ

シャモア

アルプス山脈などに、20頭前後の群れですんでいます。冬はコケなどを食べるために低地の森林に下りてきますが、夏は4000m以上の高山に登ることがあります。

●体長:90～140cm●尾長:3～4cm●体重:24～62kg●ヨーロッパ、西アジア●山地、高原、森林●草、花、コケ、木の葉

ジャワオオコウモリ

もっとも大きなコウモリの一種です。昼は大群で木の枝にぶら下がって休み、夜になると飛びまわります。大きな目とよくきく鼻を使い、果実や花をさがし出して食べます。

●体長:約40cm●尾長:不明●体重:645～1100g●東南アジア●熱帯雨林●花、花のみつ、果実

シロイルカ（ベルーガ）

北極圏とその周辺の海を群れで回遊しているイルカです。夏になると自分の生まれた海域にもどってくる習性があるためとても大きな集団になり、ときには1000頭をこえることもあります。

●体長:3～6.1m●尾長:400～2000kg●北極圏とその周辺の海●沿岸の海●イカ、タコ、魚、貝、甲殻類、節足動物

シロヘラコウモリ

テントコウモリと同じように、昼間は葉でつくったテントですごしています。からだが小さいため、1つのテントに10頭以上もいることがあります。

●体長:3.5～5cm●尾長:1～1.5cm●体重:5～7.5g●中央アメリカ東部●熱帯雨林、森林●果実（イチジクなど）、昆虫

スイギュウ（アジアスイギュウ）

昼間の暑い時間は森林の水場にもぐったり、どろ浴びをしたりします。オスとメスは別の群れをつくりますが、繁殖期にはオスはメスの群れに入っていきます。

●体長:2～3m●尾長:60～100cm●体重:250～1200kg●東南アジア～南アジア●森林、草原●草、水草、木の葉

ズキンオマキザル

かつてはフサオマキザルの亜種とされていました。パンタナール周辺の森林に10～20頭の群れでくらしていて、生態はフサオマキザルとほとんど変わりません。

●体長:32～55cm●尾長:36～55cm●体重:3～4.5kg●南アメリカ北部～中央部●水辺、森林●果実、種子、昆虫、鳥の卵、小動物

スナドリネコ

スナドリとは「漁をする」という意味で、その名のとおり魚をとって食べます。魚を追って泳ぐので、指のあいだには水かきがあります。

●体長:55～86cm●尾長:20～35cm●体重:6～14kg●インド～東南アジア、セイロン島●湿地、水辺●魚、昆虫、甲殻類、ほ乳類、鳥

スマトラサイ

スマトラ島などの水辺の森林にすんでいます。単独で行動し、昼間はどろの中で休み、夜は果実や小枝を食べます。

●体長:2.4～3.2m●尾長:50～60cm●体重:800～2000kg●ヒマラヤ山脈南部、スマトラ島、ボルネオ島（カリマンタン島）●熱帯雨林、湿地、山地●木の葉・枝・皮、果実

セスジキノボリカンガルー

キノボリカンガルーは木の上でくらしています。筋肉質なからだをもつセスジキノボリカンガルーは木登りが得意で、垂直にすいすいと木を登っていきます。

●体長:55～77cm●尾長:70～85cm●体重:6.7～9.1kg●ニューギニア島●森林●木の葉、根、果実

ターキン

夏は標高2000m以上の高地で大きな群れをつくり、冬は低地に下りて小さな群れでくらします。からだの毛はあぶらっぽくべとついていて、霧でからだがぬれるのをふせぎます。

●体長:1～2.4m●尾長:約15cm●体重:150～400kg●チベット高原、中国南西部●山地、高原●木の葉・枝、草

タスマニアデビル

最大級の肉食有袋類で、タスマニア島にのみくらしています。強力なあごとするどい歯で、ワラビーなど自分より大きな動物も食べます。

●体長:51～80cm●尾長:23～30cm●体重:4～12kg●タスマニア島●森林●ほ乳類、鳥、は虫類、昆虫、死肉

タヌキ

夜に群れやつがいで、食べ物をさがします。冬になるとキツネの古い巣などを利用して冬ごもりをします。イヌのなかまとしてはめずらしく木登りがうまく、子どもでもじょうずに登ります。

●体長:50～68cm●尾長:13～25cm●体重:4～10kg●東アジア～東南アジア、日本●山地、森林、湿地●果実、鳥、ネズミ、魚、昆虫

チーター

メスは単独でくらし、オスは何頭かの集団をつくることがあります。

●体長:1.1～1.5m●尾長:60～100cm●体重:20～72kg●アフリカ北部・中央部・東部・南部●サバンナ、砂漠、半砂漠●ほ乳類（トムソンガゼルなど）、鳥、魚、小動物

チンチラ

山地で岩のわれめなどに巣をつくって群れでくらしています。寒さから身を守るため、長くやわらかい毛におおわれていますが、野生のものは毛皮のために乱獲され、絶滅が心配されるほど少なくなっています。

●体長:22～38cm●尾長:7.5～15.6cm●体重:370～800g●南アメリカ南西部（アンデス山脈）●山地●草

チンパンジー

複数のオス・メス・子どもをふくむ15～120頭の群れでくらしています。

●体長:63～150cm●尾長:なし●体重:26～70kg●アフリカ西部・中央部●熱帯雨林、サバンナ●果実、木の葉、種子、ほ乳類（アカコロブスなど）、昆虫

ツキノワグマ

夜行性で、1日の多くの時間を木の上ですごします。木の実や果実が好物です。寒い地域では、冬のあいだは木の洞などで冬眠します。

●体長:1.1～1.9m●尾長:約8cm●体重:40～200kg●南アジア、東アジア、日本●山地、森林●昆虫、果実、木の葉、魚

ドール

5～10頭ほどの群れが協力し合って狩りをおこない、大きなシカやスイギュウもたおすことができます。おもに昼間に活動します。

●体長:76～113cm●尾長:40～50cm●体重:10～21kg●南アジア～東アジア●森林、山地●ほ乳類（シカ、ウシなど）、小動物、果実、昆虫

トド

アシカのなかまでは、もっとも大きなからだになります。海では十数頭の群れで行動し、繁殖期には沿岸に上がって1000頭以上の群れをつくることがあります。

●体長:2～3.3m●尾長:不明●体重:263～1120kg●日本、北アジア～北アメリカの北太平洋●海、海辺●魚、イカ、タコ、カニ

トナカイ

大型のシカのなかまで、カリブーともよばれます。オスにもメスにも角が生えます。食べ物を求めて、夏がくると北へ、冬がくると南へと、大きな群れで長距離を移動します。

●体長:1.2～2.2m●尾長:10～25cm●体重:55～320kg●北アメリカ北部、ユーラシア北部、グリーンランド●ツンドラ、タイガ●草、木の葉、コケ、地衣類

トビウサギ

単独かつがいでくらし、昼間は地中に掘った巣あなで休んでいます。大きな後ろあしをもち、危険がせまると3～4m以上もジャンプして逃げます。

●体長:27～45cm●尾長:30～48cm●体重:3～4kg●アフリカ中央部～南部●サバンナ、砂漠、半砂漠●根、果実、昆虫

ドブネズミ

すばしこくて泳ぎもうまく、なんでも食べます。200頭くらいの大きな群れをつくり、ウサギや鳥をおそうこともあります。世界中で見られます。

●体長:11～28cm●尾長:17～23cm●体重:40～575g●東アジア、東南アジア●森林、草原、人家●小動物、魚介類、肉、種子

トムソンガゼル

小型のすばしこいアンテロープで、数十頭～数百頭の群れをつくります。オスにもメスにも角があります。ライオンやチーターによくねらわれます。

●体長:80～120cm●尾長:12～27cm●体重:12～75kg●アフリカ東部●サバンナ、半砂漠、森林●草、種子、木の葉・枝・芽

ナミチスイコウモリ

動物の血を主食にするコウモリです。前あしと後ろあしで地上をすばやく走ることができます。夜行性で昼間は木の洞や洞くつなどに大きな群れでくらしています。

●体長:7～9.5cm●尾長:なし●体重:15～57g●中央アメリカ～南アメリカ中部●草原、森林●ほ乳類の血

ナミハリネズミ

夜行性で昼間は地中の巣あなでじっとしています。昆虫やカエルなどを食べます。危険を感じるとからだを丸め、するどいはりにおおわれたボールのようになります。

●体長:13.5～32cm●尾長:1～5cm●体重:400～1600g●ヨーロッパ～ロシア西部●森林、草原●昆虫、ネズミ、小鳥、カエル、果実

ナンキョクオットセイ

アシカのなかでは陸上ですごす時間が長く、繁殖期には海岸の岩場などにオスを中心にしたハーレムをつくります。

●体長:1.4～2m●尾長:不明●体重:22～210kg●南極大陸、南極大陸周辺の島●海、海辺●オキアミ、魚、イカ、ペンギン

ニシメガネザル

夜行性で木の上でくらしています。大きすぎてあまり動かせない目のかわりに、180度後ろに回すことができる首を動かして周囲を確認します。

●体長:8.5～16.5cm●尾長:13.5～27.5cm●体重:80～160g●ボルネオ島（カリマンタン島）、スマトラ島●熱帯雨林、森林●昆虫、小動物（ミミズなど）

ニホンカモシカ

山地や森林にすみ、繁殖期以外は単独で行動します。昼間に食べ物をさがし、夜は木の根もとなどで休んでいます。草やドングリなどを好み、それらが多くある場所をなわばりにします。

●体長:70～130cm●尾長:約15cm●体重:30～50kg●日本（本州、四国、九州）●山地、森林●草、木の葉・実・芽・皮、花

ニホンジカ

おもに早朝から夕方に活動します。ふだんは血がつながっているメスが小さな群れをつくり、オスどうしもゆるやかな群れをつくります。

●体長:90～170cm●尾長:7.5～20cm●体重:25～130kg●日本（本州、四国、九州）、アジア●森林●草、木の葉・枝・皮

ニホンテン（ホンドテン）

昼は木の洞などにひそみ、夜に行動します。木登りが得意です。小型のほ乳類やは虫類、果実などなんでも食べます。春から夏の繁殖期以外は単独で行動します。

●体長:40～54.5cm●尾長:17～24cm●体重:500～2000g●日本（本州、四国、九州、対馬）、朝鮮半島●森林●ほ乳類（ネズミなど）、果実、昆虫、鳥、魚

ニホンモモンガ

夜行性で昼間は木の洞につくった巣で休んでいます。前あしと後ろあしのあいだにある飛膜を広げて、木から木へ滑空します。

●体長:14～20cm●尾長:10～14cm●体重:150～200g●日本（本州、四国、九州）●森林●木の葉・実・芽

バーバリーシープ

オスにもメスにも三日月形の角があり、首の下に長い毛が生えています。砂漠や乾燥した岩山に群れですみ、植物にふくまれる水分や夜露だけで生きていくことができます。

●体長:1.3～1.9m●尾長:15～25cm●体重:40～145kg●アフリカ北部●砂漠、半砂漠、山地●草、木の葉・枝

ハクビシン

木の洞などにすんでいますが、人家やその周辺にすみつき、電線を伝って移動することもあります。果実が好物で、気に入った果実がある場所へは何度も通います。

●体長:49～76cm●尾長:40～65cm●体重:3～5kg●南アジア～東アジア●森林、山地●ほ乳類、鳥、昆虫、果実、小動物

ハダカデバネズミ

地中にトンネルを掘り、数十頭の群れでくらしています。顔の外側にとび出した大きな歯で、あなを掘ったり食べ物を運んだりします。

●体長:8～9.2cm●尾長:2.8～4.5cm●体重:30～80g●アフリカ東部●サバンナ、砂漠、半砂漠●根、球根、地下茎

ハツカネズミ

人間の移動につれて生息地を広げ、いまではヨーロッパだけでなく、世界中で見られます。草原や農地などにすみ、種子や昆虫などを食べます。草原などでは春と秋に繁殖します。

●体長:5.8～10.5cm●尾長:4.8～10.5cm●体重:7～35g●ヨーロッパ（地中海周辺）～アジア●草原、森林、人家●草、種子、昆虫、小動物

バラシンガジカ（インドヌマジカ）

ぬま地や水辺近くの森林にすむ大型のシカで、大きな群れで水に入ります。繁殖期になると強いオスは30頭ほどのメスをしたがえます。

●体長:約1.8m●尾長:12～20cm●体重:170～280kg●南アジア●水辺、草原、森林●水草、草（ヨシ、チガヤなど）

ハリモグラ

せなか一面のとげと、細長い口が特徴です。先がねばねばした長い舌でシロアリをなめ取って食べます。

●体長:30～45cm●尾長:約5cm●体重:2～8kg●ニューギニア島、タスマニア島、オーストラリア●森林、草原●アリ、シロアリ

ヒョウ

アフリカからアジアにかけての森林、山地、サバンナなどに単独ですんでいます。

●体長:90～190cm●尾長:58～110cm●体重:28～90kg●サハラ砂漠より南のアフリカ、アフリカ北西部、西アジア～東南アジア、東アジア●森林、サバンナ、山地、砂漠●ほ乳類（アンテロープなど）、鳥、は虫類、昆虫

フェネック（フェネックギツネ）

10頭ほどの群れで、地下の巣あなでくらしています。大きな耳は小さな音もよく聞こえるだけでなく、暑いときに体温を逃がすために役立ちます。

●体長:24～41cm●尾長:17～31cm●体重:800～1600g●サハラ砂漠をふくむアフリカ北部●砂漠、半砂漠●果実、種子、昆虫、鳥の卵、シロアリ、ほ乳類（ネズミなど）

フォッサ

マダガスカル島で最大の肉食動物で、単独で夜も昼も活動します。ジャンプや木登りがうまく、広いなわばりをもっています。

●体長:60～80cm●尾長:55～80cm●体重:7～20kg●マダガスカル島●森林、山地●ほ乳類（キツネザル、テンレックなど）、鳥、トカゲ、ネズミ、鳥の卵

ブラウンホエザル

川の近くの木の上を好んでくらしています。明るい茶色や黒っぽいものなど、さまざまな毛の色のものがいます。

●体長:56～92cm●尾長:約66cm●体重:4～7kg●南アメリカ東部●熱帯雨林、森林●木の葉、花、果実

ベンガルトラ

南アジアにすみ、夜に単独で活動します。野生のトラの半数をしめるとされています。力が強く、速く走ることができるため、自分と同じくらいの大きさの動物を狩ることもできます。

●体長:2.4～3.1m●尾長:95～119cm●体重:110～258kg●南アジア●森林、湿地●ほ乳類（シカなど）、鳥、魚、小動物

ホッキョクウサギ

夏は灰色の毛で、冬は雪景色にとけこむ白く長い毛になります。冬のあいだは大きな群れでくらしていますが、繁殖期になるとオスとメスが短期間のつがいになります。

●体長:43～67cm●尾長:3～10cm●体重:3～7kg●北アメリカ北部、グリーンランド●ツンドラ●草、コケ、木の葉、果実

ホッキョクオオカミ

オオカミのなかでは、やや小さめのからだつきをしています。つがいを中心とした群れをつくり、トナカイやジャコウウシなどをおそって食べます。

●体長:60～80cm●尾長:不明●体重:約45kg●北アメリカ北部～ユーラシア北部、グリーンランド●ツンドラ●ほ乳類（トナカイ、ジャコウウシ、ウサギ、レミングなど）、鳥、セイウチ

ボンゴ

低地の森林にすみ、オスにもメスにもねじれた角があります。複数のメスとその子どもで群れをつくり、昼間は森林の中で木の葉などを食べたり休んだりします。

●体長:1.7～2.5m●尾長:45～65cm●体重:150～405kg●アフリカ西部・中央部●森林、低木林、熱帯雨林●木の葉・枝・芽、花、草

マーコール

野生のヤギではもっとも大きなからだをしています。夏は高地で草を食べてくらし、冬は低地に移動してがけに生えた低木の葉や枝を食べます。

●体長:1.4～1.8m●尾長:8～14cm●体重:30～110kg●中央アジア、南アジア●山地、高原、草原●草、木の葉・枝

マウンテンゴリラ

アフリカ中央部のヴィルンガ山地に約600頭がすんでいます。からだの毛が長いのが特徴です。30頭ほどの群れでくらします。

●体長:1.3～1.9m●尾長:なし●体重:68～170kg●アフリカ中央部（ヴィルンガ山地）●熱帯雨林、森林●草、果実、木の葉・皮、根

マレーグマ

クマのなかまのなかで、もっとも小さなからだをしています。夜行性で、1日のほとんどを木の上ですごします。前あしの長いつめは、木登りやアリ塚をこわすときなどに役立ちます。

●体長:1～1.5m●尾長:3～7cm●体重:25～70kg●東南アジア●熱帯雨林、森林●シロアリ、ハチ、果実、ハチミツ

マレーバク

水辺近くにすみ、単独で行動します。敵におそわれると水中やしげみに逃げます。白と黒の2色のからだは、夜の森林で身を守るための保護色となっています。

●体長:1.8～2.5m●尾長:5～10cm●体重:250～540kg●マレー半島、スマトラ島●熱帯雨林、森林、湿地●木の葉・枝・芽、草、果実

マレーヤマアラシ

夜行性で、単独またはオスとメスのつがいで行動します。危険がせまると尾をふるわせ、からだのはりで音を立てて敵をおどします。

●体長:40～60cm●尾長:6.4～11.4cm●体重:6～8kg●東南アジア●森林●果実、根、昆虫

マントヒヒ

昼間は数十頭の小さな群れで食べ物をさがし、夜は最大750頭にもなる大きな群れをつくり、岩場やがけで休みます。古代エジプトでは神の使いとして大切にされていました。

●体長:50～94cm●尾長:35～61cm●体重:10～21kg●アフリカ東部、アラビア半島●森林、半砂漠、草原、サバンナ、山地●果実、木の葉、草、小動物

ミーアキャット

乾燥した草原などに前あしの長いつめであなを掘り、群れでくらしています。夜行性で、朝は巣あなから出て立ち上がり、日光浴をしてからだをあたためます。毒のあるサソリも食べます。

●体長:25～35cm●尾長:17～25cm●体重:600～1000g●アフリカ南部●サバンナ、砂漠、半砂漠●昆虫、サソリ、トカゲ、鳥の卵、果実

ミサキウマ

宮崎県南部の都井岬で、ほぼ野生の状態で放牧されているウマです。外国のウマと交配したことがあまりなく、小さくずんぐりしたからだなど日本古来のウマの特徴が残っています。

●体長:1～1.2m●尾長:不明●体重:250～320kg●日本（宮崎県都井岬）●草

ミンク

水辺近くに巣をつくり、単独で行動します。泳ぎが得意で水中にもぐって魚やカエル、ザリガニなどをつかまえます。質のよい毛皮が取れるため、世界各地で飼育されています。

●体長:30～55cm●尾長:12～23cm●体重:680～2300g●北アメリカ●タイガ、森林、水辺●小動物（カエル、カニなど）、魚、ほ乳類（ネズミなど）、鳥

ムササビ

日本のリスのなかまでもっとも大きな種です。夜行性で、前あしから尾にかけての飛膜を広げて木から木へ滑空します。

●体長:27～48.5cm●尾長:28～41.4cm●体重:500～1500g●日本（北海道をのぞく）●山地、森林●木の実・芽、花、昆虫

メガネグマ

南アメリカに生息する唯一のクマです。木登りがうまく、木の上に巣をつくったり、枝をたぐりよせて葉を食べたりします。

●体長:1.2～2m●尾長:7～12cm●体重:60～200kg●南アメリカ（アンデス山脈）●山地●果実、木の葉・茎、昆虫、ほ乳類

ヤク

群れでくらし、早朝と夕方に食べ物を求めて歩きまわります。群れの大きさは30頭ほどの小さいものから数百頭の大きなものまでさまざまです。飲み水のかわりに雪や氷を食べます。

●体長:2～3.5m●尾長:75～110cm●体重:300～1000kg●南アジア（チベット高原など）●山地、草原、砂漠●草、コケ、木の葉

ヤブイヌ

水辺の林などにくらしています。つがいとその子どもで小さな群れをつくり、なわばりをしめすため木などに尿でにおいをつけます。

●体長:57～75cm●尾長:12～15cm●体重:4～8kg●中央アメリカ～南アメリカ北東部●森林、水辺●小動物、ほ乳類（ネズミなど）

ヤマバク

山地の草原や森林にすむ小型のバクで、アンデスバクともよばれます。熱帯雨林にくらすほかのバクとちがって寒い高原にすむため、頭やおなかなどの毛が長くなっています。

●体長:約1.8m●尾長:約50cm●体重:130～250kg●南アメリカ（アンデス山脈）●山地●木の葉・芽・枝、果実

ユーラシアカワウソ

川や湖などにすんでいます。あしには水かきがあり、泳ぎが得意です。

●体長:55～95cm●尾長:30～55cm●体重:5～14kg●ヨーロッパ、アジア、アフリカ北部●湿地、川、湖●魚、カエル、エビ、ザリガニ

ヨーロッパバイソン

かつてはヨーロッパ各地の森林にすんでいました。1900年代前半に野生のものは絶滅し、動物園で繁殖したものが野生にもどされました。

●体長:2.1～3.5m●尾長:30～80cm●体重:300～1350kg●ヨーロッパ中央部（ビャウォヴィエジャの森）●森林（針葉樹林）、草原●木の葉・皮・芽、果実、キノコ

ライオン

ネコ科のなかではトラの次に大きなからだで、するどいつめをもっています。メスを中心とした群れをつくり、シマウマなどの草食動物をおそって食べます。

●体長:1.4～3.3m●尾長:60～120cm●体重:120～270kg●サハラ砂漠より南のアフリカ、インド●サバンナ、低木林●ほ乳類（シマウマ、ウサギなど）、鳥

ロイルナキウサギ

岩のすきまを巣にします。早朝や夕方に活動し、岩の上でひなたぼっこをします。小さな声でよく鳴きます。

●体長:15～20cm●尾長:不明●体重:120～180g●ヒマラヤ山脈●山地、タイガ●草、花

NOT FOR SALE ©KADOKAWA

写真提供：アマナイメージズ、オアシス、PIXTA